

No.

81

# 鳥取県高P連会報

## Contents

- 高P連会長挨拶 ..... 1
- 自転車運転者講習 ..... 2
- PTA活動紹介  
鳥取商業高校・鳥取中央育英高校 ..... 3
- 全国高P連会長表彰・県高P連役員名簿 ..... 4
- 会務報告・事業計画・決算・予算 ..... 5
- 中四国・全国高P連大会報告 ..... 6
- 平成28年度各種大会等の予定 ..... 6

発行所 / 鳥取市扇町 21  
 県民ふれあい会館内  
 鳥取県高等学校 PTA 連合会  
 TEL / 0857-27-0730



### 「換羽に思ふ」

鳥取県高等学校 PTA 連合会長 勢川洋之  
 (鳥取県立鳥取西高校 PTA 会長)

平成27年6月6日に開催された鳥取県高等学校 PTA 連合会総会で承認をいただき、平成27年度の県高P連会長の務めさせていただきました。副会長を務めさせていただきます。副会長をはじめとする役員の皆様、事務局はもとより、各単位PTAの皆様と本連合会運営の方向性を確認しながら運営を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

鳥取県は、47道府県の中で人口が一番少ない県ですが、小さいからこそ一致団結することができます。各単位PTAの皆様と今日的な課題に対応するため、密に情報共有し、意見交換の場を提供することなどが当連合会の求められている役割です。平成26年9月には、鳥取県教育審議会会長から「グローバル化や情報化、少子高齢化がより一層進展するなど、社会が大きく変化する中で、生きる力を育み、時代の要請に答えていく高等学校教育の在り方」が答申されました。他人を思いやる心などの豊かな人間性の育成、生徒一人一人の可能性の伸長などには、鳥取県教育委員会を始めとする関係機関や諸団体の皆様との連携のもと教育実

践されることが一層望まれているところでは。

さて、去る平成27年8月20日・21日の二日間「未来圏からの風をつかめ！」新時代を担う君たちと共に」を大会テーマに第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会が滝沢市の岩手産業文化センターを主会場に開催され、学校、家庭、地域が果たす役割など、全国の活動事例を1万人が学びました。以下に印象深かった二つの事例をご報告させていただきます。

最初は、盛岡第一高等学校出身で映画「るろうに剣心」などの監督、大友啓史氏の記念講演です。カメラマンや照明さんなどと信頼関係を築き、それぞれの力を最大限に引き出しながらの映画づくり。また、講演のテーマである「アドリブを生きる力」が示すように現代の高校生や若者が伸ばしていくべき方向性を示唆するものでした。講演では「子どもを育てることは世界で最もクリエイティブな仕事」と、子育ての真ただ中にある私達保護者への賛辞と激励もいただきました。

もう一つは、倉吉東高前育友会長、大津理恵氏の発表です。上級学校への進学を目指す浪人生のた

めに鳥取県内三高校に設置されていた専攻科の流れを汲む「NPO法人倉吉鴨水館」設立の事例発表でした。昭和30年代半ばの専攻科設置の際、中部設置の予定はなかったものの、保護者の粘り強い働きかけなどにより、倉吉東高専攻科が設置されたこと、また、県内専攻科廃止後に倉吉東高同窓会と育友会などが連携して倉吉鴨水館を運営しているという報告でした。発表のあった多くの事例の中で、最も力強く行動力を感じる活動事例であったと思うのは私が鳥取県のPTA関係者であったからではないと思います。

岩手大会を通して各校との連携の大切さを、また倉吉東高の大津前会長からは、子どもたちを保護者として支えることのできる喜びを改めて感じさせていただきました。このような熱意のある取り組みが鳥取県内各圏域で進められていくことを心より願っています。

現在、国レベルでは、地方創生が提唱され、本県もその特色ある施策が展開されつつあります。また、「子育てするなら鳥取県」と言われているように本県は教育環境にも力が注がれ、教育現場でも優秀な人材を養成すべく様々な取り組みが実践されています。本連合会の運営が円滑に図られるよう皆様に引き続きのご支援とご指導をお願いしまして結びとさせていただきます。

## 自転車運転者講習の対象となる危険行為

<b>信号無視</b> 	<b>遮断踏切立入り</b> 	<b>指定場所一時不停止等</b> 
<b>歩道通行時の通行方法違反</b> 	<b>制動装置（ブレーキ）不良自転車運転</b> 	<b>酒酔い運転</b> 

**その他の危険行為**

- 通行禁止違反
- 歩行者用道路における車両の義務違反（徐行違反）
- 通行区分違反
- 路側帯通行時の歩行者の通行妨害
- 交差点安全進行義務違反等
- 交差点優先車妨害等
- 環状交差点安全進行義務違反等
- 安全運転義務違反

自転車に関係する交通事故の約6割に自転車側にも法令違反があり、加害者となって高額な賠償を命じられるケースも少なくありません。  
自転車利用者に対する交通ルールの更なる徹底が不可欠であるなどの情勢を踏まえ、平成27年6月1日から、自転車運転中に危険なルール違反を繰り返す自転車運転者に、**自転車運転者講習**の受講が義務付けられました。

鳥取県警察本部 交通企画課

**自転車を使用する  
高校生の皆さんへ  
自転車運転者講習について**

### 自転車は、車道が原則、歩道は例外 歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行

**自転車の歩道通行が認められる場合**

- 道路標識等で普通自転車通行出来るとされているとき
- 道路工事や連続した駐車車両などのために車道の左側部分を通行することが困難な場所を通行する場合
- 著しく自動車などの交通量が多く、かつ車道の幅が狭いなどのために、追越しをしようとする自動車などとの接触事故の危険がある場合等

### 自転車運転者講習のながれ

- ① 自転車運転者が、危険行為により3年以内に2回以上摘発されると受講命令の対象
- ② 交通の危険を防止するため、都道府県公安委員会が自転車運転者に講習を受けようとする命令
- ③ 講習の受講  
講習時間 3時間  
手数料 五、七〇〇円  
講習内容 違反者の特性に応じた個別的指導など
- ④ 受講命令に違反した場合 5万円以下の罰金

## 鳥取県高P連 「高校生総合保障制度」のご案内

「高校生総合保障制度」は鳥取県高P連加盟の高校に通う生徒向けの任意の保障制度で、学校生活および日常生活における様々なリスクを補償しています。団体割引も適用され、個人で加入するよりもお得になっております。現在約4,500名の生徒が加入しています。ここでは様々な補償項目の中から特に**自転車の補償**についてご案内いたします。（補償内容の詳細については既に配布しているパンフレットをご覧ください。）

#### 《自転車についての補償の特徴》

- > 自転車運転中の第三者賠償事故を最大1億円まで補償します。（加入するプランによって5,000万と1億の補償があります。）
- > 上記賠償事故の際に被害者との交渉を行うことは非常に大変です。この煩わしい示談交渉を保険会社が加害者にかわって行います。
- > 自転車による賠償事故のみならず、自転車運転中のご自身のケガも補償します。また歩行中に他の自転車と接触しケガをした場合も補償の対象となります。

#### 《掛け金（3年一括）》

補償内容によって5プランをご用意しております。1度加入すれば補償は高校卒業まで継続されます。（中途加入の場合は残りの期間の掛け金となります。）

Wプラン	32,000円	Aプラン	25,000円	Bプラン	18,000円
Cプラン	12,000円	Sプラン	5,000円		

#### 《自転車事故のお支払事例》

事故内容	補償項目	支払金額
自転車運転中に停止している車に衝突	賠償責任保険	231,000円
	ご自身のケガ	188,000円
帰宅途中、出会い頭に自転車同士で衝突。加害者は無灯火。被害者は灯火。被害者は転倒し頭蓋骨折、後遺障害が残る。	賠償責任保険	17,463,000円
自転車運転中に歩行者と接触。歩行者は骨折し後遺障害が残る。	賠償責任保険	1,471,000円
自転車運転中に転倒し足を骨折。10日間入院し手術を受ける。	ご自身のケガ	87,000円

# PTA活動紹介

## 鳥取商業高等学校

鳥取商業高校は、一人ひとりの生徒が将来「地域の産業経済界をリードし、活躍する人」となることを学ぶ目的とし、これを具体化するための三本柱として「ビジネス教育」「資格取得」「部活動」を設定しています。

保護者としては、少し離れたところから人生の先輩として子どもたちと向き合い、一歩進む手助けをしたいと思います。そのために、PTA活動を通して相互のネットワークを広げ、楽しいPTAにしたいと考えているところです。

活動の中心となる五つの専門部の紹介をしておきます。

研修部は、昨年度は「進学」をテーマに県内の大学・専門学校を視察を行いました。今年度は「就職」をテーマに、東部地区の企業を主体に現場の声を聞き取り、内容を計画しています。



研修部 鳥取短期大学視察

生活部は、湖陵高校PTAと協働して街頭交通指導、列車内巡視指導、高校生マナーアップさわやか運動などを行う予定です。子どもたちが学校・家庭・地域の中であいさつやマナー、社会人としてのルールを身につけて成長できるようにサポートしたいと考えています。

人権教育部は、湖陵高校PTAと合同で大阪コリアンタウンでのフィールドワークを実施し、在日コリアンの方々のお話を伺いながら学校の枠を超えた交流を考えています。

また、公開LHRで人権講演会を開催する予定です。多くの会員に関心を持って参加してもらえ取り組みを進めます。

国際交流部では、今までの活動を振り返りながら新たな事業を提案できるように、部員一同知恵を絞りながら議論を進めています。

広報部では、学校行事や生徒の活躍、イベント情報などを会員にきめ細かくお伝えできるように、PTA会報を年三回発行することにいたしました。手に取って楽しんでいただける紙面づくりに心掛けて奮闘しています。

育ち盛り・反抗期盛り、親の言うことなどど吹く風の高校生ですが、子どもが一人でも生きていけるように育てること、いわば心身ともに一人前にすることを第一にPTA活動を進めていきます。

(文責 会長 小林克己)

## 鳥取中央育英高等学校

### 『明るく・楽しいPTA活動』

今年度、本校PTAは、「明るく、楽しいPTA」を目標に活動しています。

会長・副会長・監査役の執行部を中心に、学年・育成・人権同和推進・PTA新聞『育陵』・地区の5つの専門委員会があり、各委員会が、執行部・学校と連携を取りながら、自主的に企画運営を行っています。

5月16日に行われたPTA総会では、昨年と内容を少し変えて生徒による『部活動紹介』を授業参観後に組み込んで、総会の前に会員の皆さんに楽しんでいただきました。子どもたちの上手なパフォーマンスに、大きな笑い声や拍手の嵐！そのままの流れで、スムーズに総会を開催することができました。

同月には、PTA委員会も開催され、各専門委員に分かれ、委員長と副委員長を選出し、今年度の活動計画等を話し合い、現在活動中です。

7月4・5日(土・日)には、PTA行事の中でも最大の行事である『育英祭PTAバザー』を行いました。天気予報では雨の予報でしたが、当日は2日間とも晴天で、1日400食の焼きそばを2日間、合計800食を完売することができました。2日間で80名の会員さ

んが参加され、切る・運ぶ・焼く・詰める・売ると、それぞれのパートに分かれた流れ作業で、効率よくこなすことができました。作業の合間に、子どもたちのステーションや模擬店等も順番で観るようになり、とても和やかに、楽しく、子どもたちと共に、学園祭に参加させてもらいました。



8月には、『PTA大学見学研修』に行ってきました。これは毎年行っているのですが、今年は、鳥取環境大学のオープンキャンパスに参加し、卒業生の学生さんの案内で、とても楽しく学内の見学をさせてもらいました。夏休みだったこともあり、参加者はいく、6名と少なかったですが、学食の無料体験や、大きなバスで悠々移動：と、お得な研修となりました。

今後は、育英大運動会の応援や、PTA参加競技(綱引き)への協力、人権教育公開LHR等々、まだまだ学校へ出向くことがあります。その都度、参加呼びかけをし、会員みんなで誘い合って、気楽に学校へ行けるような雰囲気を作っていきたいと思っています。

(文責 会長 古川厚子)

祝 全国高P連会長表彰

平成27年8月20日(木)、第65回全国高P連大会岩手大会において表彰式が行われました。

鳥取県からの受賞者(校)は次のとおりです。長年PTA活動に御尽力なさり素晴らしい成果をあげておられることが、多くの方々より高く評価された結果と存じます。受賞まことにめでとうございます。

役員等表彰

●水野治郎氏(前県高P連会長)

卓越した見識と優れたリーダーシップで、単位PTAがまとまることにより県高P連が一つの大きな力になり順風満帆に進むよう、単位PTAの会長や役員との連携を密にした行動に努めた。

また、高P連会長として県はもとより、中国・四国地区及び全国高P連の会議等へ出席する度、鳥取県のがんばっている姿を積極的にPRすることに努めた。

個人表彰

●大津理恵氏(前倉吉東高会長)

- ・県高P連副会長 1年
- ・地区高P連会長 1年
- ・単P会長 1年

育友会(PTA)副会長、会長を歴任し、長年にわたって育友会

活動の企画・運営に尽力し、学校と保護者及び保護者間の連携の深化に多大な功績をあげた。また平成26年度は鳥取県中部地区PTA連合会会長及び県高P連の副会長を務めるなど、学校の枠を超えて鳥取県のPTA活動を支え、その発展に寄与した。

●石谷充氏(前鳥取東高会長)

- ・県高P連中四代表役員 1年
- ・単P会長 2年

2年間、PTA会長としてマナーアップさわやか運動、学校祭におけるPTA合唱など各専門部の行事に全般的にかかわった。また副会長と役員会を頻繁に行うなど連携を密にとり、PTA活動の活性化に貢献した。

団体表彰

●鳥取東高等学校PTA

進路指導の支援として「保護者のための進路セミナー」を開催。また保護者で休日の自習室開放を20年前から続けて生徒の進路保障に取り組んでいる。また、学校祭時、「PTA合唱」をし、学校祭を盛り上げていく。

●日野高等学校PTA

研修事業部、校外指導部、広報部の三つの専門部会を設け、学校祭へのPTA参加、駅前での「高校生マナーアップさわやか運動」参加、学校だより「日野川」の発行協力等の活動を行っている。

平成27年度 県立高校PTA会長・校長名簿

所属校	会長名	校長名	所属校	会長名	校長名
鳥取東	宇田川和人	藤原辰広	倉吉総合産業	高橋義博	竹ノ内誠一
鳥取西	勢川洋之	河田透	鳥取中央育英	古川厚子	横山尚登
鳥取商業	小林克己	坂林豊人	米子東	南雅樹	山根孝正
鳥取工業	田中寿彦	小宮山信行	米子西	岩瀧央子	依藤典篤
鳥取湖陵	上山弘子	谷輝久	米子	谷森正史	田中宏
青谷	安岡敬恒	大塩朋	米子南	忠田孝樹	澤田裕二
岩美	森田俊之	尾室真郷	米子工業	荻田佐知子	友松文嗣
八頭	大谷敏美	小倉健一	境	上地勝	池田洋二
智頭農林	綾木速人	濱崎公嗣	境港総合技術	渡祐一	安藤順一
倉吉東	加藤一	河田雅志	日野	佐野精彦	田淵直記
倉吉西	加藤一巳	足羽英樹	鳥取盲	新田洋介	竹信純一
倉吉農業	小谷友幸	田中正士	鳥取聾	清水智子	藤田則恵

平成27年度 県高P連役員

役職	氏名	所属校
会長	勢川洋之	鳥取西
副会長	加藤一	倉吉東
〃	南雅樹	米子東
参与	藤原辰広	校長協会
〃	小倉健一	八頭
〃	竹ノ内誠一	倉吉総合産業
〃	澤田裕二	米子南
〃	河田透	鳥取西
〃	河田雅志	倉吉東
〃	山根孝正	米子東
監査	上山弘子	鳥取湖陵
〃	小谷友幸	倉吉農業
〃	佐野精彦	日野
中・四国高P連代表役員	勢川洋之(理事)	鳥取西
〃	田中寿彦	鳥取工業
〃	渡祐一	境港総合技術
〃	寺谷節男	事務局長

平成26年度 会務報告

- 26. 4.10 県高P連監査 鳥取 県民ふれあい会館
- 17 県高P連第1回役員会 倉吉 上井公民館
- 6. 7 県高P連定期総会 湯梨浜町 国民宿舎 水明荘
- 7.11 第56回中・四国地区高P連大会高知大会  
高知市 高知県立県民文化ホール
- 17 県高P連第2回役員会 倉吉 上井公民館
- 31 第39回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会  
倉吉 県立倉吉未来中心
- ※倉吉西高校が第4分科会で司会
- 8.22～23 第64回全国高P連大会福井大会  
福井県越前市 サンドーム福井他
- 10. 1 会報第79号発行
- 14 県高P連第3回役員会 倉吉 上井公民館
- 18 中部地区高等学校PTA指導者研修会  
倉吉 新日本海新聞社中部本社
- 21～24 PTA日韓交流事業(受入) 県内
- 11.29 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会  
鳥取 とりぎん文化会館
- 27. 1.14 県高P連第4回役員会 倉吉 上井公民館
- 2. 1 西部地区高等学校PTA指導者研修会  
米子 ホテルサンルート米子
- 24 会報第80号発行

平成27年度 事業計画

- 1 各高等学校PTAの連絡提携
  - (1) 総会
  - (2) 役員会
  - (3) 通知・資料提供による情報の交流、協議決定事項の推進
  - (4) 会報の発行、各校PTA会報の交換斡旋
  - (5) その他
- 2 県・地区PTA活動の充実・展開
  - (1) 研修活動の推進(県・地区高校PTA連合会研修会、県PTA研究会、県外への調査、研修)
  - (2) 青少年非行防止運動のための協力・実践
  - (3) 関係団体・組織との提携活動
  - (4) その他
- 3 県青少年健全育成・生涯学習諸活動への積極的参加
  - (1) 青少年育成鳥取県民会議
  - (2) 人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会
  - (3) 社会を明るくする運動
  - (4) 生涯学習関係諸集会、大会
  - (5) 全国高P連賠償責任補償制度への加入推進
  - (6) その他
- 4 県外PTA諸事業の振興・参加
  - (1) 中・四国地区高P連、全国高P連との提携およびその事業の推進
  - (2) 中・四国地区高P連、全国高P連大会における研究発表および参加
  - (3) 他県高P連、他地区高P連との情報交換等協力関係の維持推進
- 5 県内関係諸団体・組織との連携交流
  - (1) 県高等学校長協会
  - (2) 県教育委員会
  - (3) 県PTA協議会
  - (4) その他

平成26年度 収支決算書

収入の部 (単位:円)			
科目	予算額(A)	収入済額(B)	増減(B)-(A)
負担金	4,796,600	4,792,600	△4,000
補助金	1,216,000	1,216,000	0
前年度繰越金	52,357	52,357	0
繰入金	2,000,000	2,436,561	436,561
雑収入	143	388	245
合計	8,065,100	8,497,906	432,806

支出の部 (単位:円)			
科目	予算額(A)	支出済額(B)	増減(A)-(B)
会議費	232,000	204,789	27,211
事業費	2,078,000	2,034,812	43,188
研修費	530,000	499,577	30,423
地区研修活動費	810,000	810,000	0
活動費	80,000	79,946	54
広報費	633,000	621,773	11,227
事業事務費	25,000	23,516	1,484
運営費	5,081,000	5,050,909	30,091
人件費	3,406,000	3,405,600	400
旅費	860,000	832,805	27,195
運営事務費	85,000	83,780	1,220
借用料	160,000	167,198	△7,198
通信運搬費	180,000	179,406	594
渉外費	50,000	53,800	△3,800
社会保険料	320,000	318,502	1,498
雑費	20,000	9,818	10,182
負担金	328,000	324,820	3,180
租税公課等	81,000	86,400	△5,400
備品費	0	0	0
退職積立金	100,000	100,000	0
日韓交流事業	80,000	45,040	34,960
予備費	85,100	0	85,100
合計	8,065,100	7,846,770	218,330

註1 繰入金…内訳)特別会計 1,200,000円、団体保険手数料 1,236,561円  
 団体保険手数料(高校生総合保障制度還付金)が、加入者の増加に加え、  
 高額プランに加入される方が多かったことにより増

平成27年度 収支予算書

収入の部 (単位:円)			
科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	増減(A)-(B)
負担金	4,715,800	4,796,600	△80,800
補助金	1,266,000	1,216,000	50,000
前年度繰越金	651,136	52,357	598,779
繰入金	2,000,000	2,000,000	0
雑収入	364	143	221
合計	8,633,300	8,065,100	568,200

支出の部 (単位:円)			
科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	増減(A)-(B)
会議費	236,000	232,000	4,000
事業費	2,312,000	2,078,000	234,000
研修費	750,000	530,000	220,000
地区研修活動費	810,000	810,000	0
活動費	88,000	80,000	8,000
広報費	639,000	633,000	6,000
事業事務費	25,000	25,000	0
運営費	5,312,000	5,081,000	231,000
人件費	3,406,000	3,406,000	0
旅費	931,000	860,000	71,000
運営事務費	247,000	85,000	162,000
借用料	175,000	160,000	15,000
通信運搬費	180,000	180,000	0
渉外費	30,000	50,000	△20,000
社会保険料	323,000	320,000	3,000
雑費	20,000	20,000	0
負担金	323,000	328,000	△5,000
租税公課等	90,000	81,000	9,000
備品費	0	0	0
退職積立金	100,000	100,000	0
日韓交流事業	80,000	80,000	0
予備費	180,300	85,100	95,200
合計	8,633,300	8,065,100	568,200

註1 繰入金…内訳)特別会計 1,200,000円、団体保険手数料 800,000円  
 2 事業費-研修費…中四国、全国大会での発表補助分が増  
 3 運営費-運営事務費…HPリニューアルのため、初期費用及び年間維持経費分が増

### 第57回中・四国地区高P連大会 岡山大会報告

平成27年7月10日(金)岡山市民会館において、「つなごう子育て 結ぼう手と手」をテーマに、中・四国地区高P連会員1,660名を超える参加で盛大に開催されました。(鳥取県からは125名参加)

午前の講演は、「私の歩んだ道」見えないから見えたもの」と題し、岡山県立岡山盲学校講師で



社会福祉法人岡山県視覚障害者協会理事の竹内昌彦氏による講演がありました。小学2年の時に失明。いじめや差別と闘いながらの壮絶な人生を、ユーモアを交えながら、またその後モンゴルに視覚障害者の職業訓練学校を設立するまでの

貴重な話を聴くことができました。

午後の研究協議では三校の発表がありました。「進路指導とPTA」では鳥取県立倉吉東高校の前育友会長大津理恵氏が「子どもの背を押す育友会」『NPO法人倉吉鴨水館』の設立をめぐる」と題し発表。「生徒指導とPTA」では広島県立松永高校PTA顧問山元龍一氏が「忍の一字で見守るPTA」と題し発表。「社会貢献活動とPTA」では「保護者・生徒・地域が協力した社会貢献活動」と題し岡山県立岡山工業高校奨学会会長竹原多美子氏による発表があり、その後、参加者と活発な意見交換がありました。

閉会式では次期開催地の香川県へとバトンが渡され、大会は閉幕しました。

### 第65回全国高P連大会 岩手大会報告

平成27年8月20日(木)〜21日(金)、滝沢市の岩手産業文化センター(アピオ)を主会場に、「未来圏からの風をつかめ!」をテーマに、全国高P連会員約一万名の参加で盛大に開催されました。(鳥取県からは67名参加)

#### 大会第一日目

開会式に続き、芝浦工業大学学長村上雅人氏による「夢高くして足

地にあり」と題した基調講演があり、教育の大切さは世界共通の認識で、教育により人も国も変わる。ご自分の経験や専門の超電導工学の話をおして、教育の役割について話を聴くことができました。

午後の分科会は七分科会あり、第二分科会の「進路指導とPTA」では鳥取県立倉吉東高校前育友会長大津理恵氏が「子どもの背を押す育友会」『NPO法人倉吉鴨水館』の設立をめぐる」と題し発表されました。進学を目指す浪人生の為に県内の東中西部にあった「専攻科」が諸事情で廃止され、その後、同窓会と育友会などが進学支援のためにNPO法人



を立ち上げ、県内全域の進学支援活動をおこなう。県からの財政支援を受けなくて、生徒の進学希望を叶えていくという発表内容に参加者の関心を呼びました。

#### 大会第二日目

高校生のアトラクションの後、映画監督大友啓史氏が「アドリブを生きる力」と題し、ご自分の作品「るろうに剣心」などを紹介しながらの記念講演がありました。閉会式では次期開催地の千葉県へとバトンが渡され、大会は閉幕しました。

#### PTA広報紙展示

智頭農林高等学校 「楓ヶ原通信」  
倉吉農業高等学校 「倉農通信」



(文責 寺谷)

#### 平成28年度各種研究大会等の予定

- 鳥取県高等学校PTA連合会総会  
6月 中部地区
- 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会  
7月15日(金)アルファあなぶきホール(高松市)
- 全国高等学校PTA連合会大会  
8月25日(木)、26日(金)幕張メッセ他(千葉市)
- 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会  
11月 西部地区